

トラとゾウの保護活動を ストップするわけにはいかない

ビベック・メノン

インド野生生物トラスト (WTI)
事務局長



南インド・ケララ・アジアゾウ保護プロジェクトのフィールドにて

JTEFとWTIは昔からのパートナーであり、「友人」です。私たちの深いきずなを創り上げたのは、まさにゾウとトラへの愛と、これらの素晴らしい生きものを救うために、今、行動しなければ手遅れになるという強い思いです。今、インドは、世界で2番目に新型コロナウイルス感染者の多い国となっています。JTEFとのプロジェクトのために働

くスタッフも、容易にフィールドに出られず、調査、行政や住民への働きかけもペースダウンしています。しかし、ここで支援が途切れれば、若いスタッフたちからなる活動体制も地域コミュニティとの関係も失われてしまいます。この苦難のときこそ、ゾウとトラの存続のために暖かいご支援を継続していただけますようお願いいたします。

活動を強化したい

来年、ダンプカーが
ヤマネコの事故多発エリアを集中的に走る

高山雄介

JTEF西表島支部やまねこパトロール
事務局長



西表島、浦内橋からマンガロープを見下ろす

1969年に架設された浦内橋が、老朽化にともない架け替えが予定されています。工事は今年度中に始まりますが、完成までに12年と大変長い工期が組まれた、西表島としては大規模な工事を伴う事業です。資材の搬入は主に白浜港からを予定しているようですが、この白浜～浦内橋間は近年イリオモテヤマネコの交通事故が特に多発している地域です。大型の工事車両の場合、接触しただけで

もヤマネコは即死してしまうでしょう。また、道路に沿って3つの集落と一つの小中学校があるため、島の人々、特に子どもの交通安全上も心配があります。やまねこパトロールでは八重山土木事務所に対して、同事業での工事車両の運行上、特別の配慮を求めていくほか、この区間を含む西部地区でのパトロール活動を強化していきますので、是非支援の継続をお願いいたします。

トラ保護基金

中央インド・ティベシュワール保護区・トラ保護プロジェクト

は、2018年に開始し、保護区周辺での人とトラとのトラブルを回避するためにワークショップなどを行い、徐々にトラとの共存に対する理解が進んできたところでした。しかし、現在は新型コロナウイルス蔓延により、村の人々に集まってもらうことも難しい状況です。6月に再び行われたロックダウンの頃から1歳半くらいの若いメストラがたびたび村近くにやってきて、ヤギ7頭を殺し、人も襲われました。そして残念なことに、9月15日には60才の女性が殺されてしまいました。彼女はWTI & JTEFが行った自然ガイドのトレーニングにも関わっていた有能な自然ガイドの母親でした。4日後にこのメストラは捕獲され、レスキューセンターに移送され、今後動物園に送るか、他地域の森林に移すかが検討されています。WTIもトラとのトラブルを避けるための村人によるパトロール活動に十分目を届かせることができず、厳しい状況が続いています。



捕獲されたメストラ

ゾウ保護基金

南インド・ケララ・アジアゾウ保護プロジェクト

は、ゾウのコリドー（まとまった森林の間を移動するための帯状の生息地）を確保することを目的に、計画を進めてきました。ところが、ケララ州はインドで初めてコロナ感染者が発見された州となり、感染爆発はいったん収束したものの、今再び感染拡大に苦しんでいます。それでも、プロジェクトは少しずつですが進んでいます。対象とするエリアには5つのコリドーがあります。現在、これらコリドーがゾウにどのように利用されているのか、ゾウの移動を難しくしている問題点は何か、その解決策などを調査・検討し、報告書にまとめようとしています。これをもとに、具体的な保護対策をスタートする予定です。



©Vivek Menon

国内象牙市場閉鎖プロジェクト

では、8月12日の「世界ゾウの日」に、象牙市場の閉鎖を求める世界の動きをとりまとめ、東京都に対し、国に先んじて都内の象牙取引を禁止することを求めました（以下の新聞記事参照）。しかし、東京都は新型コロナウイルス蔓延を受け、1月に設置した「象牙取引規制に関する有識者会議」の会合を、2月以降まったく開いていません。また、10月に予定されていたワシントン条約常設委員会（ここで、日本政府の対応が議論される予定だった）も延期され、国内象牙市場閉鎖には進捗が見られない状況です。



2019年度にJTEFが行った支援



・中央インド・トラ保全プロジェクト (2020年10月14日時点)	¥1,596,450
・南インド・アジアゾウ保全プロジェクト	¥2,749,000
・イリオモテヤマネコ生息地保全プロジェクト	¥228,862
・イリオモテヤマネコ交通事故防止プロジェクト (2020年10月14日時点)	¥1,860,103
・ヤマネコのいるくらし授業プロジェクト (2020年10月14日時点)	¥561,571
・イリオモテヤマネコの日事業/ JTEF西表島支部「やまねこパトロール」運営 (2020年10月14日時点)	¥3,035,878
・緊急支援	¥3,180,758
・政策提言事業(国内象牙市場閉鎖など) 教育普及事業(うえのトラ大使など) (2020年10月13日時点)	¥3,138,943

* JTEFは、個人サポーターの方々からのご寄付の他、チャリティー・イベントでのご寄付、法人・団体からのご寄付、助成金等で運営されています。

* 最終的な決算 (2019年11月1日～2020年10月31日) の内容は、2021年2月発行予定の「年次報告書」でご報告します。

「象牙取引、都は禁止を」

海外の団体、相次ぎ要請



2020年8月12日付秋田魁新聞の記事「象牙取引に詳しいトラ・ゾウ保護基金の坂元雅行事務局長は『要請が相次ぐのは、閉鎖を求める国際的な圧力が強まっている証した。都は今回の要請をチャンスと捉え、速やかに取引禁止を決断し、国にも働きかけてほしい』と話した。」

これまでの
課題

ヤマネコの交通事故



100頭のうち…2019年4頭(うち3頭死亡、1頭は逃走)

沖縄県による公共事業(浦内橋架替事業)に伴って大型工事車両が走ることにより、ヤマネコの事故リスクが大きく高まる。

Achievement
成果

① 夜間パトロール **115回実施** (2019年4月~2020年3月)

② ヤマネコのいるくらし授業
上原小学校3年生と4年生の授業に協力

→ 毎年授業を実施している4年生は、2019年も学習発表会でヤマネコ学習の成果を発表。新たに3つの注意喚起看板を製作して事故多発地点に設置しました。また、雑草が繁茂しがちで見通しが悪い県道215号線で、ドライバーからヤマネコが見やすくなるように草刈り回数を増加することや、アンダーパスなどの交通事故対策の実施を玉城知事宛てに手紙を書きました。知事からは、返事と励ましのビデオレターが学校に届いています。



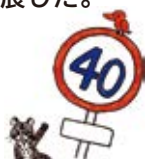
③ 浦内橋の架け替え工事について
沖縄県八重山土木事務所に**意見書を提出**

→ 工事期間中に橋上にヤマネコが誘導されることを防ぐため、仮橋の下にアンダーパス(地下通路)が2基設置されることになりました。

☑ 上原小学校4年生の学習の取り組みは年々強化され、学校からの意見表明にまで発展した。

☑ 島民の夜間運転車両の平均速度が2015年から4年連続で減少し、ついに制限速度以下になりました。
(2015年: 45.1km/h → 2019年: 39.9 km/h)

☑ 2020年10月12日現在イリオモテヤマネコの交通事故は0件。無事故日数が300日を超えるのは2007年以来13年ぶり。



これまでの
課題

生息地のかく乱

西表島が世界自然遺産に登録されると、観光客の生息地への入り込みが増え生息環境がかく乱される恐れや、ヤマネコの路上出没を増やす人馴れがすすむ可能性がある。また、取水・排水量やゴミの増加なども懸念される。

Achievement
成果

① 世界自然遺産への登録推薦を審査するIUCN(国際自然保護連合)に、現在の西表島での観光管理対策について、**追加の情報提供を行いました。**

残された
課題

新型コロナウイルスの影響

西表島では3月の緊急事態宣言以降、イリオモテヤマネコ、世界遺産関連の会議は全面的に中止となり、竹富町の(仮)イリオモテヤマネコ交通事故防止対策条例の検討再開のめどはたっていません。11月からは西表島内のオーバーツーリズム対策関連の会議も順次開催されることになっていますが、どのような進捗になるのか予断を許しません。



2020
2/8
SAT

「竹富町やまねこマラソン大会」 (西表島)に参加

ヤマネコに優しい安全運転を呼びかけて、チーム「やまねこパトロール」が走りました。大会後の懇親会会場では、パネル展示と「野生動物サポートグッズ結」のヤマネコグッズを販売。



2020
7/18
SAT

JTEFオンラインイベント (第1回) 「やまねこパトロール活動報告編」を開催

JTEF初のオンラインイベントです。西表島支部やまねこパトロールの高山事務局長が、ヤマネコ保護活動の今と、新型コロナウイルスの侵入を警戒する西表島の様子を伝えました(その後、西表島でも18人の感染が確認された)。主催者側も、(おそらく)参加していただいた方の多くも手探りのようなところがありましたが、心配していた技術上の大きなトラブルもなく、ホッ。次回は、質問やご意見をもっと気安くしていただけるよう工夫していきます。



寄
附
収
入
減
少
に
よ
り、
来
年
度
は
ピン
チ。

JTEFへのサポートの ご継続をお願いします!

2019年度(2019年11月～2020年10月)に個人の方々からいただいた寄附は、前年度と比べ、トラ、ゾウ、ヤマネコすべてについて減ってしまいました(9月末現在)。また、新型コロナウイルス蔓延のために3月以降の会場型イベントがすべて中止となり、JTEFへの寄付グッズ販売(野生動物サポートグッズ結)からの寄附も、チャリティー・パーティーの実行委員会からのご寄付もゼロとなってしまいました。経済活動が停滞し、ほとんどの方たちがご苦勞されているこの時に心苦しくはありますが、活動へのご支援の継続をお願いいたします。

年間サポーター費・随時寄附のお支払方法

JTEFのウェブサイトから、クレジットカードで簡単に寄附いただけます。

www.jtef.jp または「トラゾウ」で検索

郵便振替でもご寄附いただけます。

ゆうちょ銀行

口座番号: 00170-7-355897

加入者名: トラ・ゾウ保護基金

2月年報と6月通信でお願いしたご寄附＝スモールドネーションのご報告 (9/30現在)

(単位: 円)

ドネーション (2020年の2月年報と6月通信では同じ内容で案内)	目標金額	6月発行通信で報告したご寄附	その後9月までに戴いたご寄附	小計
・中央インド・マハラシュトラ州ティベシュワール野生生物保護区 若者向けワークショップ時に贈呈するTシャツやウォーターボトル等フィールド装備	300,000	144,500	259,150	403,650
・「南インド・ケララ・アジアゾウ保全プロジェクト」 未だ保護策が検討されていない4つのコリドーでゾウの利用の実態調査費	300,000	153,000	260,300	413,300
・やまねこパトロール ノートパソコン1台と動画が撮れるデジタルカメラとメモリーカードなど一式	300,000	187,000	390,500	577,500
無指定	-	-	-	45,000
合計	900,000	519,500	919,950	1,439,450

恒例の「チャリティー・パーティー」(「JTEFの活動を支えるチャリティー実行委員会」主催)は新型コロナウイルス対応のため中止となりましたが、そこで呼びかける予定だったスモールドネーションには別途ご協力をお願いしてきました。6月時点では目標に届かなかったものの、保護基金通信で再度ご協力のお願いをさせていただいたところ、9月時点で目標をはるかに上回るご寄附をいただきました。ありがとうございました。それぞれ予定の活動のために大切にに使わせていただきます。

new
BOOK

ニューノーマルの時代に JTEFの活動を振り返る 本が出版されます! 記念オンライン・イベントも!

戸川久美著「野生動物のためのソーシャルディスタンス イリオモテヤマネコ、トラ、ゾウ保護活動に取り組むNPO」が出版されます! 出版記念オンライン・イベントも開催!

11月14日(土)16時～17時30分

*詳細は同封チラシをご覧ください。



【JTEFの賛同者】

相澤登喜恵さん(動物肖像画家)、新井晴みさん(俳優)、安藤元一さん(ヤマザキ学園大学名誉教授)計報2020年3月24日にご逝去されました。ご逝去を悼み、謹んでご冥福をお祈りいたします。池田卓さん(シンガーソングライター)、井上奈奈さん(現代アーティスト)、岩田好宏さん(子どもと自然学会顧問)、牛越峰統さん(一般社団法人日本プロサーフィン連盟名誉顧問)、大森享さん(元北海道教育大学教授)、岡田彰布さん(野球評論家)、小川潔さん(東京学芸大学名誉教授)、加藤登紀子さん(シンガーソングライター)、蟹江杏さん(版画家)、見城美枝子さん(青森大学副学長・エッセイスト)、巨勢典子さん(作曲家・ピアニスト)、小林裕児さん(画家)、権藤真禎さん(元社団法人兵庫県自然保護協会理事長・元神戸市立王子動物園園長)、坂本美雨さん(ミュージシャン)、沢田研二さん(歌手)、瀬木貴将さん(ミュージシャン、JTEF野生動物親善大使)、田中豊美さん(動物画家)、田中裕子さん(俳優)、田畑直樹さん(公益財団法人日本動物愛護協会理事長)、土居利光さん(前恩賜上野動物園園長・日本パンダ保護協会会長)、並木美砂子さん(帝京科学大学教授)、根本美緒さん(フリーキャスター・天気予報士)、南ぬ風人まーちゃんうーぼーさん(三線アーティスト)、ヒサクニヒコさん(漫画家)、平岩弓枝さん(作家)、福井崇人さん(2025PROJECT 理事)、福田豊さん(恩賜上野動物園園長)、藤木勇人(志いさー)さん(作家)、古沢広祐さん(國學院大学研究開発推進機構客員教授)、前川貴行さん(動物写真家)、松田陽子さん(シンガーソングライター)、水野雅弘さん(株式会社TREE 代表・プロデューサー)、三石初雄さん(東京学芸大学名誉教授)、宮下実さん(ときわ動物園園長・元近畿大学教授・大阪市天王寺動物園名誉園長)、村田浩一さん(日本大学生物資源科学部特任教授)、森川純さん(酪農学園大学名誉教授)、八千草薫さん(俳優)計報2019年10月24日にご逝去されました。JTEF設立以前のトラ保護基金時代から2018年秋まで20年にわたり、ずっとご寄附やグッズをお買い上げいただき、あの可憐な話し方で野生動物のいる自然環境の大切さをお話しくださっていました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。山極寿一さん(前京都大学総長/進化論・生態学・環境生物学・動物学)、山崎薫さん(学校法人ヤマザキ学園理事長)、吉野信さん(動物自然写真家)、渡辺貞夫さん(ミュージシャン) 50音順 敬称略